学校番号	1206

令和５年度　家庭科

教科	専門家庭	科目	子どもの発達と保育	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「子どもの発達と保育　新訂版」　（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

教科書とプリントによる授業で､保育に関する知識や技術を習得します｡動画教材等も用いながら、乳幼児の健全な成長に関心を持てるようにします。体育祭や文化祭などの機会に、近隣の保育所より園児を招待し、幼児と触れ合う機会を設けます。また知育おもちゃ製作などの実習や妊婦体験授業も実施し、実践的な態度を身につけます。

２　学習の到達目標

乳幼児期が人間発達の基礎を培う時期であるため、子どもと触れ合う機会を通して、子どもの発達の特性や、保育などに関する知識と技術を習得する。
乳幼児の健全な成長に関心を持ち、実践的な態度を身につける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	子どもの発達や子育て支援について関心を持ち、実際に子どもと関わろうとする意欲と態度を身につける。	子どもの健全な育成、親子関係、少子化などの、現代における課題を見つけ、その解決を目指して思考を深めている。	子どもと触れ合ったり、子育て支援を行っている人々と交流を図ったりする学習を通して、発達過程に対応した技術を身につける。	子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識を身につける。
評価方法	・出席状況 ・実習の取組状況 ・作品の提出状況 ・プリント・レポートの提出状況	・グループワークでの発表 ・作文、小論文、レポートの内容 ・妊婦体験実習	・体育祭や文化祭などの交流の機会を通して子どもとの関係性の構築と幼児の行動観察 ・絵本の読み聞かせ評価 ・知育おもちゃの作品点	・３回の学期末試験 ・レポート点

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	子どもの発達の特性	・オリエンテーション ・人間の発達に関心を持ち、乳幼児期の意義を理解する ・「育つ力」を引き出す環境について理解する	○			○	a:授業態度・作品取り組み状況・実習取り組み状況 b:発表内容・レポート c:知育おもちゃ作品点 d: レポート点・プリント記入状況・考査点	平常点・出席点 作品点 考査点
	子どもの発達過程	・乳幼児期の発育の過程を理解する ・運動機能・感覚機能・知的能力・言語機能・情緒など心の発達を理解する ・妊婦体験実習 ・沐浴体験実習 ・知育おもちゃの製作 ・体育祭での園児との触れ合い		○	○	○		
2学期	子どもの生活	・養護の必要性と発達に応じた適切な養護の方法を知る ・乳汁栄養と離乳について知り、子どもの栄養と食事の意義について知る ・子どもの遊びの意義を知り、適した児童文化財を選択する ・知育おもちゃの製作 ・絵本の読み聞かせ	○		○		a:授業態度・作品取り組み状況・実習取り組み状況 b:発表内容・レポート c:知育おもちゃ作品点・絵本読み聞かせ発表内容・取り組み状況 d:レポート点・プリント記入状況・課題の取り組み状況・考査点	平常点・出席点 作品点・発表点 考査点
	子どもの保育	・家庭保育と集団保育の意義を理解する ・保育者に求められる役割を知る ・文化祭での園児との触れ合い		○		○		
3学期	子どもの福祉	・幼児食の調理について ・子どもに関する様々な法律と制度を知る ・子育て支援の状況と課題について理解する	○		○	○	a:授業態度 c:実習点 d:レポート点・課題点・考査点	平常点・出席点 実習点 考査点

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解